光の王国 インタルード4



インタルード 4 いばらの森
「ごきげんよう、お姉さま」
玄関のドアを開けると同時にそんな挨拶をされ
た場合、いったいどんなリアクションをすればよ
いのだろう。
奈子は、ドアを開けた体勢のまま固まってし
まった。
目の前には、由維が立っている。
夏休み中だというのに、セーラー服を着て。
ただしそれは、赤いミニスカー トが特徴的な白
岩学園中等部の制服ではない。
漆黒に緑色を一滴落としたような、光沢のない
黒い生地のセーラー服。
ロー ウェ ストのワンピー ス、膝下丈のプリー ツ
スカートという、ひどくレトロなデザインだ。
黒のラインが一本入っているアイボリー のセー
ラーカラーは、そのまま結んでタイになっている。
ひどく時代錯誤的な、それでいて品のいいデザ
インだった。

かの問題ではない。	奈子が言いたいのは、似合うとかに合わないと	小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。	ません?」	「 リリアン女学園のコスプレですけど 似合い	表情で訊いた。	由維を家の中に通しながら、奈子はやや呆れた	「なんの真似?」	そして、手には大きな紙袋を持っていた。	由維の家はカトリックではないはずだったが。	胸には、ご丁寧にロザリオまで下がっている。	いった雰囲気だ。	見た目だけなら、どこの良家のお嬢様か、と	が、今日に限って本来の濃い茶に戻っていた。	いばらの森』の舞台となっている、カリアン女学園由維が最近お気に入ってはない。 そのには、ご丁寧にロザリオまで下がってた雰囲気だ。 で訊いた。 して、手には大きな紙袋を持っていた の家はカトリックではないはずだった で訊いた。 で訊いた。 のコスプレですけど をして、手には大きな紙袋を持っていた の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった で訊いた。 のコスプレですけど のまたいのは、似合うとかに合わ と目見たときから、それがなんの格好 でいた。 の舞台となっている、 の時 のコスプレですけど
ン女学園 由維が最近お気に入りのた。	リリアン女学園由維が最近お気に入りのっていた。ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。	リリアン女学園由維が最近お気に入りのっていた。の問題ではない。	リリアン女学園由維が最近お気に入りのっていた。の問題ではない。の問題ではない。	リリアン女学園由維が最近お気に入りのっていた。 の問題ではない。 の問題ではない。 小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 せん?」	リリアン女学園由維が最近お気に入っていた。 っていた。 リリアン女学園由維が最近お気に入りリアン女学園のコスプレですけど	リアン女学園由維が最近お気に入子が言いたいのは、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。ん?」 と目見たときから、それがなんの格好問題ではない。 でいた。	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入けアン女学園のコスプレですけどで訊いた。	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園のコスプレですけど で訊いた。 と目見たときから、それがなんの格好 さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 たいのは、似合うとかに合わ さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 で訊いた。	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園のコスプレですけど で訊いた。 ションな学園のコスプレですけど で訊いた。 その仕草が可愛い。 そいたいのは、似合うとかに合わ さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 でいた。	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 りアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 その仕草が可愛い。 その仕草が可愛い。 ていた。	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 りアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 その仕草が可愛い。 その仕草が可愛い。 には、ご丁寧にロザリオまで下がって	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入れた。 して、手には大きな紙袋を持っていた で訊いた。 りアン女学園のコスプレですけど で訊いた。 して、手には大きな紙袋を持っていた で記いた。 で記いた。 でで記いた。 でではない。 のっていた。 ででいた。 でではない。 のっていた。 ででいた。 のっていた。 のった。 のっていた。 のっていた。 のっていた。 のっていた。 のっていた。 のっていた。 のった。 のった。 のっていた。 のった。 のっていた。 のった。 のった。 のっていた。 のった。 つった。 のっで のった。 のった。 のった。 のった。 のっで。 のっで のった。 のった。 のった。 のった。 のっで のっで のの	リアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近お気に入りアン女学園由維が最近なんの格好で記いた。 その気はカトリックではないはずだった で訊いた。 マロンのは、似合うとかに合わた。 その仕草が可愛い。 と目見たときから、それがなんの格好 でいた。	説『いばらの森』の舞台となっている、カトリッ
た。	っていた。ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。	っていた。っていた。	っていた。っていた。その仕草が可愛い。	っていた。っていた。	っていた。 っていた。	ていた。 ていた。 ていた。	ていた。 それがなんの格好でではない。 その仕草が可愛い。 と目見たときから、それがなんの格好で訊いた。 につけていのは、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。 で訊いた。	ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。	ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。	ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。	ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。	ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。 ていた。	た目だけなら、どこの良家のお嬢様 た目だけなら、どこの良家のお嬢様 た目だけなら、どこの良家のお嬢様	リアン女学園 由維が最近お気に入りの
と目見たときから、それがなんの格好かは	ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。	ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。	ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。奈子が言いたいのは、似合うとかに合わない小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。	ひと目見たときから、それがなんの格好かはの問題ではない。奈子が言いたいのは、似合うとかに合わない小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。せん?」	ひと目見たときから、それがなんの格好の問題ではない。なりですが言いたいのは、似合うとかに合わ小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。せん?」	と目見たときから、それがなんの格好きく首を傾げる。その仕草が可愛い。ん?」 リアン女学園のコスプレですけどで訊いた。	と目見たときから、それがなんの格好さく首を傾げる。その仕草が可愛い。ん?」 リアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 維を家の中に通しながら、奈子はやや	と目見たときから、それがなんの格好さく首を傾げる。その仕草が可愛い。のコスプレですけどで訊いた。	と目見たときから、それがなんの格好きく首を傾げる。その仕草が可愛い。で訊いた。 リアン女学園のコスプレですけどで訊いた。 うが言いたいのは、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。 して、手には大きな紙袋を持っていた	と目見たときから、それがなんの格好になんの真似?」 になんの真似?」 で訊いた。 で訊いた。 で訊いた。 の家はカトリックではないはずだったの家はカトリックではないはずだった	と目見たときから、それがなんの格好には、ご丁寧にロザリオまで下がってには、ご丁寧にロザリオまで下がっていた。	と目見たときから、それがなんの格好で訊いた。 リアン女学園のコスプレですけど で訊いた。 で訊いた。 の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった で訊いた。 の家はカトリックではないはずだった で訊いた。 の方言いたいのは、似合うとかに合わ さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 たっていた	と目見たときから、それがなんの格好には、ご丁寧にロザリオまで下がってには、ご丁寧にロザリオまで下がってた家の中に通しながら、奈子はややいで訊いた。 の家はカトリックではないはずだったの家はカトリックではないはずだったの家の中に通しながら、奈子はややいで記いた。 で訊いた。 と目見たときから、その仕草が可愛い。 をの仕草が可愛い。	かっていた。
	の問題ではな	の問題ではない。 奈子が言いたいのは、似合うとかに合わない	の問題ではない。 奈子が言いたいのは、似合うとかに合わない小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。	の問題ではない。奈子が言いたいのは、似合うとかに合わない小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。せん?」	の問題ではない。 奈子が言いたいのは、似合うとかに合わ小さく首を傾げる。その仕草が可愛い。せん?」	問題ではない。その仕草が可愛い。うちにない。、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。ん?」	問題ではない。問題ではない。	問題ではない。問題ではない。	問題ではない。 問題ではない。 問題ではない。	問題ではない。 問題ではない。 問題ではない。	問題ではない。 問題ではない。 問題ではない。 で訊いた。 の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった	問題ではない。 問題ではない。 問題ではない。 の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった で訊いた。 その仕草が可愛い。	問題ではない。 問題ではない。 どこの良家のお嬢様 た目だけなら、どこの良家のお嬢様	と目見たときから、それがなんの格好かは
子が言いたいのは、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。 して、手には大きな紙袋を持っていたの家はカトリックではないはずだったの家はカトリックではないはずだったで新して、手には大きな紙袋を持っていたで訊いた。 で訊いた。 その日に限って本来の濃い茶に戻ってい	さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 なんの真似?」 には、ご丁寧にロザリオまで下がってた雰囲気だ。 で訊いた。 で訊いた。 く日に限って本来の濃い茶に戻っていた	ん?」 の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった には、ご丁寧にロザリオまで下がって た雰囲気だ。 で訊いた。 く日に限って本来の濃い茶に戻ってい	リアン女学園のコスプレですけど リアン女学園のコスプレですけど で訊いた。 で訊いた。	で訊いた。 で訊いた。	「なんの真似?」 「なんの真似?」 「なんの真似?」	ໍ ວ ໍ ໍ	ໍ 3 ` ໍ	° S ` °	3 `°	` 0	` 0	が、今日に限って本来の濃い茶に戻っていた。		普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪
子が言いたいのは、似合うとかに合わさく首を傾げる。その仕草が可愛い。 して、手には大きな紙袋を持っていたの家はカトリックではないはずだったの家はカトリックではないはずだったの家はカトリックではないはずだったた雰囲気だ。 で訊いた。 その日に限って本来の濃い茶に戻ってい段は明るい茶に金のメッシュという由	さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 さく首を傾げる。その仕草が可愛い。 なんの真似?」 には、ご丁寧にロザリオまで下がって には、ご丁寧にロザリオまで下がって には、ご丁寧にロザリオまで下がって には、ご丁寧にロザリオまで下がって で訊いた。 の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった	ん?」 して、手には大きな紙袋を持っていた の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった の家はカトリックではないはずだった	リアン女学園のコスプレですけど りアン女学園のコスプレですけど りアン女学園のコスプレですけど	普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪 でなんの真似?」 「なんの真似?」 「なんの真似?」 「なんの真似?」 「れたのの真似?」 「れたのの真心?」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「なんの真似?」「なんの真似?」	そして、手には大きな紙袋を持っていた。 ちった雰囲気だ。 いった雰囲気だ。 当た目だけなら、どこの良家のお嬢様か、と が、今日に限って本来の濃い茶に戻っている。 として、手には大きな紙袋を持っていた。	由維の家はカトリックではないはずだったが。胸には、ご丁寧にロザリオまで下がっている。いった雰囲気だ。そ日に限って本来の濃い茶に戻っていた。普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	胸には、ご丁寧にロザリオまで下がっている。りった雰囲気だ。そ日に限って本来の濃い茶に戻っていた。普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	いった雰囲気だ。とこの良家のお嬢様か、とが、今日に限って本来の濃い茶に戻っていた。普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	見た目だけなら、どこの良家のお嬢様か、とが、今日に限って本来の濃い茶に戻っていた。普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	が、今日に限って本来の濃い茶に戻っていた。普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	普段は明るい茶に金のメッシュという由維の髪	いつもと違うのは服装だけではない。

ク系のお嬢様学校だ。
だからといって
「 自分で作ってみたんですけど、けっこう良くで
きてるでしょ?」
居間に通った由維は、両手を広げてくるっと一
回転して見せた。
「まあね」
奈子は曖昧にうなずく。
確かに、よくできている。
中学二年生にして家事全般のエキスパー トであ
る由維は、もちろん裁縫も得意だ。
本物だといわれてもわからないだろう。
「 で?」
奈子は訊いた。
「で、って?」
「そんなもの着てきて、どうしようって言う
Ø?'
そもそも今日は、由維と一緒に街へ遊びに行く

少女の、悲しくも美しい物語だった。	奈子は力いっぱい叫んだ。「やっぱり、そういうつもりかぁぁっっっ!」それはピッタリ奈子サイズの、リリアンの制服。予感は的中していた。	出す。	…じゃなかった、お姉さまの分もありま日は、この格好でデートしましょ?(奈子する。れでこの格好。なんだか、すごくヤなだった。
リ、そういうつもりかぁぁっっっ! ビッタリ奈子サイズの、リリアンの そって、持ってきた紙袋を開けて中 そって、持ってきた紙袋を開けて中 そって、持ってきた紙袋を開けて中 たって、持ってきた紙袋を開けて中	#は笑って、持ってきた紙袋を開けて…じゃなかった、お姉さまの分もあ日は、この格好でデートしましょ?する。 …じゃなかった、お姉さまの分もあれでこの格好。なんだか、すごくだった。	じゃなかった、お姉さまの分もあ日は、この格好でデートしましょ?する。 する。	

「イヤ!」	「えー、どうしてー」	由維が口をとがらせる。	テーブルを叩いて奈子は叫んだ。
	「知るか!」 「知るか!」 「知るか!」	●かしい! 第一アタシには似合わなりかしい! 第一アタシには似合わなっとうた表情で、ぷぅっと頬をにヤダ!」 ニーアタシには似合わな - 、どうして - 」	るか!」 御が口をとがらせる。 そのにー」
「どうしてもイヤ?」	たのに-」 たのに-」	たのに-」たのに-」	たのにー」 たのにー」 たのにー」
	れ着てデートするのを楽しみに、一雑はむっとした表情で、ぷぅっと頬をにヤダ!」	れ着てデートするのを楽しみに、一雑はむっとした表情で、ぷぅっと頬をにヤダ!」	れ着てデートするのを楽しみに、一雑はむっとした表情で、ぷぅっと頬をにヤダ!」 ~ どうしてー 」
「どうしてもイヤ?」「知るか!」作ったのに丨」	雑はむっとした表情で、にヤダ!」	雑はむっとした表情で、「にヤダ!」 第一アタシー、どうしてー」	維はむっとした表情で、9かしい! 第一アタシー、どうしてー」
うしてもイヤ?」るか!」 るか!」 たのに-」 れ着てデートするのを楽しみに、一	とした表情で、第一アタシ	とした表情で、してー」	とした表情で、 としたま に、 として ー」 の シ
つしてもイヤ?」 るか!」 たのにー」 れ着てデートするのを楽しみに、一	」 第 一	・ ! し て 第 丨	・ ! し ど がら せ
つしてもイヤ?」 なか!」 和着てデートするのを楽しみに、一れ着てデートするのを楽しみに、一	恥ずかしい! 第一	恥ずかしい! 第一えー、どうしてー」	恥ずかしい! 第一 れに、どうしてー」
つしてもイヤ?」 なか!」 なか!」		えー、	え 由 ー 縦
- ブルを叩いて奈子は叫んだ。	口をとがらせる。	ルを叩いて奈子は	
マリアを引いて、そんなカッコができるかぁ~フレてもイヤ?」 なかしい! 第一アタシには似合わな いだうしてー」 かしい! 第一アタシには似合わな にヤダ!」 たのにー」 たのにー」	由維が口をとがらせる。 テーブルを叩いて奈子は叫んだ。 アタシまで、そんなカッコができるかぁ	テーブルを叩いて奈子は叫んだ。アタシまで、そんなカッコができるかぁ	アタシまで、そんなカッコができるかぁ
っしてもイヤ?」 からといって からといって	由維が口をとがらせる。 テーブルを叩いて奈子は叫んだ。 だからといって	テーブルを叩いて奈子は叫んだ。アタシまで、そんなカッコができるかぁだからといって	アタシまで、そんなカッコができるかぁだからといって
っしてもイヤ?」 こしてもイヤ?」 「してもイヤ?」 なか!」 なかしい! 第一アタシには似合わな した。 にやダ!」 にやダ!」 にやび!」 にやび!」 なっとした表情で、ぷぅっと頬を にやダ!」 たのにー」 たのにー」	由維が口をとがらせる。アタシまで、そんなカッコができるかぁだからといってしまうのもわからなくもない。	テーブルを叩いて奈子は叫んだ。アタシまで、そんなカッコができるかぁだからといってしまうのもわからなくもない。	アタシまで、そんなカッコができるかぁだからといってしまうのもわからなくもない。
でしても有法にので、「 たのに」」 そのにし」 たのにし」	由維が口をとがらせる。 日維が口をとがらせる。	テーブルを叩いて奈子は叫んだ。アタシまで、そんなカッコができるかだからといって しまうのもわからなくもない。	アタシまで、そんなカッコができるかだからといって しまうのもわからなくもない。 何度も何度も読み返していた由維が、
でしてもイヤ?」 からといって やかしい! 第一アタシには似合わな してデートするのを楽しみに、一 れ着てデートするのを楽しみに、一 れ着てデートするのを楽しみに、一 たのにー」 たのにー」	き 維 る が か	き 維 る が か	き 維 る が か
こしても 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 このに - 」	き 維 で る が さ か 、 え ぁ 感	き 維 で る が さ か 、 え ぁ 感	き 維 で る が さ か え、
和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 細にすすめられて読んだ奈子でさえ、 和にすすめられて読んだ奈子でさえ、 なうのもわからなくもない。 って、そんなカッコができるかぁ なうのもわからせる。 ー、どうしてー」 にヤダ!」 にヤダ!」 にヤダ!」 第一アタシには似合わた。 ったのにー」 なっとした表情で、ぷぅっと頬を たのにー」	維が口をとがらせる。 御が口をとがらせる。	ーブルを叩いて奈子は叫んだ。 をこぼしてしまったくらいだ。 ならといって 維にすすめられて読んだ奈子でさえ、 いた。	タシまで、そんなカッコができるかぁまうのもわからなくもない。度も何度も読み返していた由維が、感をこぼしてしまったくらいだ。維にすすめられて読んだ奈子でさえ、いた。

奈子はうめくように言った。これは反則だった。「卑怯よ、由維」	の毎日だ。	待っているのはインスタント食品とコンビニ弁当	由維が食事を作ってくれなくなったら、奈子を	由維の双肩にかかっていると言ってもいい。	両親が滅多にこの家に帰らない奈子の食生活は、	いきなり急所を突かれ、言葉を失った。	「 ? !」	「もうゴハン作ってあげない」	「なによ?」	脅迫するような口振りだった。	ዲ'	「そこまで言うんなら、私にも考えがあります	心なしか、目が据わっている。	ろした。	むっとした表情のまま、由維はソファに腰を下	「そうですか」	「 絶対に」	「 絶対 に ?」
--------------------------------	-------	------------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	--------------------	--------	----------------	--------	----------------	----	-----------------------	----------------	------	-----------------------	---------	-----------	--------------------

と明るくなった。	唇を噛み、肩を震わせて紙袋を受け取った。奈子に選択の余地はなかった。	「 う」	ば、今日はこの制服でデー トですよ」	「ふっふっふ、これを人に見られたくなけれ	由維がいるときにはしない。	そんなこと滅多にしないし、第一、間違っ	奈子は叫んだ。	「ウソだーっっ!」	「奈子先輩の、ひとりエッチの隠し撮り!」	ただし今度は、奈子に表を見せない。	由維はもう一枚の写真をちらつかせる。	「そしてこれがとびっきり」	「あ、あ、あんたねー」	写真を持つ奈子の手が震える。	いる姿だった。
----------	------------------------------------	------	--------------------	----------------------	---------------	---------------------	---------	-----------	----------------------	-------------------	--------------------	---------------	-------------	----------------	---------

感じた。 感じた。 感じた。 感じた。 のあたりでは見慣れない古風なセーラー服をまに振り返る。
こんなところを学校の友達にでも見られたらな
んて言われるか。
感じた。
だけど
手をつないで歩いている由維は、とても嬉しそ
うだった。
この上なく、幸せそうな顔をしている。
満面の笑みを湛えて。
そう。考えてみれば、とても幸せなことなのか
もしれない。
いちばん好きな人と、こうして一緒にいられる
というのは。
あの小説の主人公たちのように、愛し合ってい
ても離ればなれになってしまう者たちだっている
のだから。

た。	由維の頬が、かすかに赤みを増したように見え	け力を入れた。	奈子は、由維の手を握っている右手に、少しだ	ときを。	こうして、由維と手をつないで歩いているこの	そう考えると、いまをもっと大切にしたい。	おそらく叶わない願いだ。	いつまでもこのままでいたい。だけど、それは	ろうか。	だけど、好きだという思いにゴー ルはあるのだ	日が来るなんて。	由維との別れなんて、考えたくもない。そんな	いったいいつまでこうしていられるのだろう。	急に、不安になった。	自分と由維は?
----	-----------------------	---------	-----------------------	------	-----------------------	----------------------	--------------	-----------------------	------	------------------------	----------	-----------------------	-----------------------	------------	---------

とする数人の友人たちは、この日のデートを目撃していた、亜依をはじめう奈子の心配は杞憂だったらしい。

「あのふたりってば、相変わらず仲いいねー」

と、温かく(?)見守っていたそうである。

後日談になるが、

* *

*

今回も、数日前にふと思いついて、下書き一次回作は『金色の瞳』じゃなかったのか?」が回作は『金色の瞳』じゃなかったのか?」が回作は『金色の瞳』じゃなかったのか?」のは『わたしだけ』くらいでしょうが、ご勘弁がして書いてるんですよ。まじめに考えて書いて書いてるんですよ。まじめに考えて書いて書いてるんですよ。まじめに考えて書がのは『わたしだけ』くらいでしょうか。
。っぱりこのネタが旬のうちに書いてしま思いの方もいらっしゃるでしょうが、ご次回作は『金色の瞳』じゃなかったのか。はい、まったくのお遊びです、今回はま届けします。話んた方にもうまれかり
直言って、最近のインタルードは発作的に
いて書いてるんですよ。まじめに考えて書
けは本編とつながりのある話ですしね。は『わたしだけ』くらいでしょうか。
回も、数日前にふと思いついて、下書き
間、清書一時間半くらいで書いたものです。しか
も下書きは、某ダム湖でニジマス釣りをしてる最
中にVAIOノートで書いたというもの。おかげ
で釣果は散々でしたけど、やっぱり薄型ノー トP
Cは便利です。

そもこの話を読み飛ばすことをおすすめします 栞の精神を愛していた」って。 少女小説と百合にまったく興味のない方は、そも が見てる』シリーズをお読みでしょうから、説明 白薔薇さまも言ってるじゃないですか、「私はから (笑)。 少中。最近、精神的な愛に目覚めてしまいました ちらでも似たようなものですけど。 か、ただの百合小説と化してます。でもH度は減 く関係のない内容になってますねー。 いつの間に 『光』本編の「異世界での冒険」云々とはまった 『いばらの森』をイメージしています。まあ、ど 『マリア様が見てる』ではなくて、須加星著の ト文庫のコーナーを探してみてください。ただし、 は不要でしょう。わからない方は書店で、コバル (笑)。本編とほとんど関係ないですし。 なお、作中に書かれている『いばらの森』は さて、きっと『光』の読者の過半は『マリア様 それにしても、インタルードは3も4も、

http://plaza4.mbn.or.jp/~kamuychep/chiron/

はら、ELLタ閲覧こは日タイプウンイアウトウークに、1ページ単位で表示することもできます。その場合は、表示モードをデフォルトの「幅に上)、ウィンドウサイズをできるだけ大きくし画面解像度が高い場合(1280×1024以	半ページずつ読み進めていくことができます。すると、Enterキー(Returnキー)でページが画面に収まるようにしてください。モニタ上で読む場合、ブラウザやアクロバットモニタ上での閲覧	るため、閲覧時にはちょっとした工夫が必要です。印刷の両方に適合するようにレイアウトされていこのPDFファイルは、 画面での閲覧、紙への	閲覧に関する注意事項
--	--	---	------------

印刷して読む場合、用紙サイズはB5を使用しは、北原宛にその旨メールでお知らせください。個別に対応いたします。 の刷しての閲覧 の刷しているかもしれません。(その代わり、
印刷しての閲覧
ます。
印刷実行前に、アクロバットリーダーのプリン
タ設定を確認してください。
高性能のレーザープリンタを使用する場合、プ
リンタの「2ページ印刷」の機能を用いた方が、
実際の本に近い文字サイズで読みやすいかもし
れません。(縮小してB6用紙に印刷するので
も可)
アクロバットのバージョンが4の場合、印刷が
極端に遅くなる場合がありますが、これはソフ
トの仕様によるものと思われますのでご了承く
ださい。